

令和4年度決算審査における事業評価シート（分科会まとめ）

事業名 地域に開かれた学校づくりの推進

1 分科会委員の評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民（市）のニーズを把握した事業となっているか	①なっている(20点)	4	○	20 地域で子どもを見守る、育てるという事業は共働きが進み、また、核家族化した現代には必要であり、学校がその中心となり事業を実施している。
	②どちらかといえばなっている(15点)	4		
	③どちらかといえばなっていない(10点)			
	④なっているとは言い難い(5点)			
事業の課題、問題点を認識できているか	①できている(20点)	2		15 コミュニティ・スクールを全小中学校に設置し、予算化したことは評価する。今後は中身を構築する必要がある。
	②どちらかといえばできている(15点)	5	○	
	③どちらかといえばできていない(10点)	1		
	④できているとは言い難い(5点)			
事業に工夫（費用、効率・効果）は見られるか	①見られる(20点)	1		15 成果指標を学援隊数から「学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動に取り組んでいる学校数」に変更したことに工夫が見られる。効率・効果については今後の課題である。
	②どちらかといえば見られる(15点)	5	○	
	③どちらかといえば見られない(10点)	2		
	④見られるとは言い難い(5点)			
計画、ビジョン、施策等に見合った事業となっているか	①なっている(20点)	1		15 計画、ビジョンには見合っているが、コミュニティ・スクールが事業にどう寄与していくかは未知数である。
	②どちらかといえばなっている(15点)	7	○	
	③どちらかといえばなっていない(10点)			
	④なっているとは言い難い(5点)			
事業の成果	①成果がある(20点)	2		15 コミュニティ・スクールを全小中学校に設置したことは成果である。未来いなべ科、学援隊事業、コミュニティ・スクールの各事業を密接に関連づけ、それぞれの事業での地域との交流及び支援の機会を増やすとともに、支援内容の広がりを図り、特色ある学校づくりを推進している。
	②どちらかといえば成果がある(15点)	5	○	
	③どちらかといえば成果がない(10点)	1		
	④成果があるとは言い難い(5点)			

次ページへ続く

2 分科会評価

評価		分科会の評価理由
4	4 良好である 76～100 点	<p>地域で子どもを見守る、育てるという事業は、共働きの進み、核家族化した現代には必要であり、学校がその中心となり事業を実施している。未来いなベ科、学援隊事業、コミュニティ・スクールの各事業を密接に関連づけ、それぞれの事業での地域との交流及び支援の機会を増やすとともに、支援内容の広がりを図り、特色ある学校づくりを推進している。</p> <p>コミュニティ・スクールを全小中学校に設置し、予算化したことは評価する。成果指標を学援隊数から「学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動に取り組んでいる学校数」に変更したことに工夫が見られる。</p> <p>計画、ビジョンには見合っているが、コミュニティ・スクールが事業にどう寄与していくかは未知数であり、今後は中身を構築する必要がある。効率・効果については今後の課題である。</p>
	3 おおむね適正である 51～75 点	
	2 問題がある 26～50 点	
	1 不適正である 1～25 点	

3 この事業に対する提案

提案		提案、提言内容
3	5 拡充する	<p>計画、ビジョンには見合っているが、コミュニティ・スクールが事業にどう寄与していくかは未知数であり、今後は中身を構築する必要がある。効率・効果については今後、留意されたい。</p>
	4 改善し継続する	
	3 現状のまま継続する	
	2 縮小する	
	1 廃止・休止する	